

# 図書館だより

## 第3号

2015年(平成27年)9月28日発行

朝夕は涼しい日もあり、灯火の下で読書するのに絶好の時期も近づいてまいりました。一方、このたびは関東地方と東北地方に連続して大洪水の被害があり、また火山の噴火や地震など、自然の厳しさを痛感させられるニュースが多くありました。皆さんの御家族・御親戚の方々は大丈夫ででしょうか。被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げる次第です。

さて、『図書館だより』も第3号となりました。日本薬科大学図書館ではこれからも館長以下、さいたま、お茶の水の両キャンパスの図書館職員一同、一丸となって、学生諸君、そして研究者の皆様のサポートをすべく、業務に邁進いたします所存です。その道標として、『図書館だより』をお届けし、図書館の活動状況や催し物のお知らせを続ける予定です。是非活用してください。(船山)

## ■お知らせ

### 《やや早朝の夏休み読書会を終えて》

去る8月24日(月)～26日(水)の3日間、和室で「やや早朝の夏休み読書会」を開催しました。読書、勉強など、夏休み中のひと時、ちょっと気分を変えて朝の比較的早い時間での読書会を開催するに当たり、やっかふえ睡蓮前の図書館掲示板やHPへの掲載に加えて、図書館としては初めてLINEによる参加を呼び掛けました。当初予想していた猛暑・残暑ではなく、やや肌寒ささえ感じた3日間、やや少数ではありましたが、教員の先生方や学生の皆様に参加して頂き、「勉強が捗った。」などとの感想も頂きました。皆勤賞の館長は、参加された皆様と談笑されたり、机に向かって、あるいは、横になったりしながら読書の時間を楽しんでおられました。

図書館では、後期試験後にも、今回の様な読書会、あるいは、皆様に参加して頂ける企画を考えたいと思っております。皆様に参加してみたいと思われる企画に関するご意見・ご要望をお待ちしております。(齋藤)



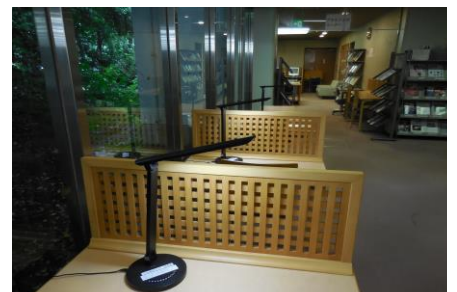
### 《皆様の意見・要望に応じております①》

図書館では、これまでに、皆様の要望、意見を直接伺い、実行可能な事には「即」対応して参りました。

一つは、前号で紹介した「机と椅子の組み合わせを選択できるよう、館内にあった4種類の椅子を学習室や閲覧室の各所に配置した。」というもので、学習中の姿勢が少しでも楽になればと思っております。

次に、「1階階段脇やブラウジングコーナーの学習スペースの照明が暗い。」との意見を受け、「卓上LED電気スタンド」を配置したものです。人それぞれに学習するのに好みの場所もあるようですので、これからは目を悪くする心配をせずに学習に専念して頂けるものと思っております。更に、雑誌について、「男性のファッション誌がない。」との意見を受け、見直し時期を早め(来年度を待たずに)、人気の低かった雑誌に替えて「メンズノンノ」の購読を開始したものです。男性諸君！是非、これを読んで男を磨いてください。

図書館ではこれからも、皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。(齋藤)



### 《試験的に館内全域で飲み物「可」としています》

4月から、まず、図書館1階のブラウジングコーナーに限り、飲み物(ソフトドリンクに限ります)を「可」として参りましたが、皆様がマナーを守ってくださったこともあり、図書館では、この8月から「館内全域での飲み物を可」とすることにいたしました。ただし、飲み物の容器は、ふた(キャップ)付きの物に限らせていただきます。プルトップ缶などは、容器を転倒させた際に、書籍、床などを著しく汚すことが予想されますので、禁止です。当面、この措置は試験的として続けますので、ルールとマナーを守って、皆様が快適に学習できる環境を皆様ご自身で築いてください。(船山)

### 《お茶の水キャンパス図書室より》

9月から、2号館1階の図書室と3号館4階のキャリア推進室で、「図書」を利用される目的などで入室された方の人数の統計を取らせて頂く目的で、カウンターを設置しました。参考書や雑誌を閲覧したり、借りに来た際、あるいは、探している本の検索などをパソコンで行った際には、設置したカウンターを押してください。皆様のご協力をお願いします！(青木・太田・鈴木)

## ■新着図書より

### 《さいたまキャンパス》

新着図書から、館長の船山教授が書かれ、寄贈された本を紹介します。以前から本学図書館にあった「毒草薬草事典」の台湾版で「認識毒草薬草事典」です。本学と提携関係にある台湾の中国医薬大学の短期研修留学生も手に取っていました。

また、前館長の金子教授から登録販売者試験対策本の「ラ・スパ登録販売者試験対策」を寄贈して頂きました。スポーツ薬学コースの学生の皆様、是非、図書館に来館され、試験対策に役立ててください。（山口・河野）

### 《お茶の水キャンパス》

キャリア推進室内に、「ラ・スパ登録販売者試験対策」、「登録販売者になる！いちばんわかるテキスト」第3版「7日間でわかる！登録販売者テキスト&問題集 2015 第3版」が届きました。閲覧のみにはなりますが、ご活用下さい！！（鈴木）



## ■著作権講習より

### 《平成27年度図書館等職員著作権実務講習会参加所見》

8月18日より3日間、文化庁長官官房著作権課による、公共図書館、大学図書館、国立・県立の美術館、博物館等の職員を対象とした著作権の講習に参加させて頂きました。私達に身近な「インターネットによる複製の制限」や「図書館では絶版書籍を保存するためにコピーすることが許されている」など著作権の扱いは様々でした。

また、国立国会図書館においては、地域の図書館でしか持っていない本を両図書館が連携して、データとして保存する様になっているということなど、日本国内の図書館の活動などにも大きな可能性を感じました。（河野）

### 《著作権ミニ知識》

第4号から「著作権講習より」で著作権に関する「実例」や「Q&A」を紹介して参りたいと考えております。当初は、講習で得た内容を皆様に紹介して参りますが、皆様が著作権に関して疑問に思っていることにもお答えできればと考えております。そこで、皆様をお願いします。著作権に関する小さな疑問をお寄せください（あまり大きな問題にはお答えしかねますので）。図書館へのメール、電話、あるいはメモをお渡し頂くなど、とりあえずは図書館へご連絡頂けましたらありがたく存じます。（山口・河野）

## ■図書館長のつぶやき（3）

### 《ヒマワリによせて》

今年の6月下旬、図書館の玄関前に少し彩りを添えようと、ヒマワリの種（植物学的に正確に言えば果実／瘦果）を播いてみました。ヒマワリといえば、私たちの世代ではソフィア・ローレン主演の「ひまわり」をヘンリー・マンシーニの哀愁に満ちたテーマ曲とともに思い浮かべますが、果たしてあの映画のシーンのようにどこか切ない、しかし凛とした姿を見せてくれますかどうか。

ヒマワリの種を播くなんて本当に何10年かぶりのこと。しかも、明らかに通常より約1ヶ月以上遅れの播種です。花をつけるまで育つかと心配もしましたが、施肥の効果も出て、8月には巨大な姿となって蕾をつけるまでに生長しました。望むらくは「やや早朝の読書会」のときまでに満開になればと思ったのですが、やや遅れての開花となりました。しかしながら、ヒマワリは1粒の種がたった2ヶ月でここまで育つということを如実に教えてくれました。勉強や仕事についても2ヶ月あればこれだけの進歩（変化）が可能ではないかと見せつけられた気もいたします。

ただ、「やはり」というところもあり、8月末に雨が続いて涼しくなったら大きな花をつけた茎が突然がっくりと首を垂れてしまいました。この時期は通常ならば種子が実って首を垂れる時期なのです。1ヶ月遅れで種を播いたツケがここにきてあらわれてしまいました。その後好天となり再び首をもたげましたが、どうにも調子がよくありません。種はその播き時に播かなければいけないことがはっきりと示されました。植物の種は、まずは芽を出し、根を張り、茎を伸ばし、準備が万端整ったところで花をつけ、結実することになりますが、それぞれの段階に適した時期があるわけで、勉強や仕事も同じかなと思います。学生諸君にはいつが頑張り初めの時（種播き時）かを考えてほしいと思った次第。決して種の播き時が遅れないように祈っています。すなわち、「今でしょ！」です。それぞれが一つのモチーフ（種）を早めに手に入れて、芽を出させ、しっかりと根を張り、どんどん伸びて、ついには大きな花をつけていただきたいと願っています。説教じみてしまいましたが、図書館がそのきっかけを提供できるようになれば幸いです。この夏の「やや早朝の読書会」の目的もそこにありました。図書館ではこれからも種々の催しも企画していきますので、ふるって参加され、そこからなんらかのきっかけをつかむ方が出てくることを望んでいます。（船山信次）

